

平成20年度 行政評価第三者評価シート

事務事業番号

410

事務事業名	「わがまち自慢」推進事業		所管部課	1総務企画部	企画財政課		
事業概要	住民・市町村の協働によるソフト事業を中心とした地域づくりを支援						
事業内容	事業詳細 ・手段	関係各課(室)の担当者レベルで「わがまち自慢」事業推進検討会を設置し、連絡協調を深め、本事業を効率よく実施する。					
	意 図	地域社会の活力を維持するためには、地域の多様な資源を活かした地域づくりについて住民と市町村とが、自らの知恵と工夫によって発案すること及び住民と市町村が協働して取組むことが重要であり、協働して地域の多様な資源を活かした活動を行う地域づくり団体・市町村に対して助成を行う。					
	市の関与の あり方	住民と市町村が協働して取組むことが重要である。 但し、計画している事業の事業主体は、市である。					
	事業費 (単位:千円)	H18決算	H19決算	H20予算	H21見込	H22見込	H23見込
	0	0	705	12,622	14,528	0	
内部評価	5-D						

行政評価第三者評価

市の内部評価、5-D に対して評価する。

評価の視点	評 価
必要性 ・市民ニーズは大きいか。 ・行政で実施するのが妥当か。 緊急性 ・新たに事業を実施する必要があるか。 ・事業を現在のレベルで引き続き実施する必要があるか。 効率性 ・事業執行に際して、ムダが生じていないか。 ・経費に見合った効果が期待できるか。 ・適切な事業規模か。 ・受益と費用負担は公平か。 ・受益に対する負担は適切か。 ・民間活用の余地があるか。 ・類似業務との統合の可能性はないか。	妥当である。 おおむね妥当である。 妥当でない。(問題がある。) 上記3つのうち、左記の内容から該当するものを1つ選択し、 <input type="checkbox"/> で囲んでください。

評価意見			
その他意見	・事務事業評価シートに記載された文章、内容は分かりやすいか、該当する方を <input type="checkbox"/> で囲んでください。	分かる	難しい

上段の市が実施した内部評価に対し、主に3つの視点から第三者評価を行う。

平成20年度 行政評価第三者評価シート

事務事業番号 239

事務事業名	こども医療費助成事業		所管部課	2市民生活部	保険年金課		
事業概要	小学校第3学年修了前の児童が、医療機関に受診した際の医療保険診療分の自己負担分の一部を助成する						
事業内容	事業詳細・手段	小学校第3学年修了前児童を扶養しているものに対し、医療費に係る費用負担を軽減するため、保険診療分の医療費の一部を医療費助成として支給する。					
	意 図	小学校第3学年修了前児童を扶養しているものに対し、その 医療費の一部を助成し、児童の健全な育成を支援するとともに福祉の増進を図る。					
	市の関与のあり方	県条例に基づく保険診療に係る医療費の2分の1の補助を受け、市で当該事業を実施する。					
	事業費 (単位:千円)	H18決算	H19決算	H20予算	H21見込	H22見込	H23見込
	130,175	129,738	133,929	133,929	133,929	133,929	
内部評価	2-A						

行政評価第三者評価

市の内部評価、2-A に対して評価する。

評価の視点	評 価
必要性 ・市民ニーズは大きいか。 ・行政で実施するのが妥当か。 緊急性 ・新たに事業を実施する必要があるか。 ・事業を現在のレベルで引き続き実施する必要があるか。 効率性 ・事業執行に際して、ムダが生じていないか。 ・経費に見合った効果が期待できるか。 ・適切な事業規模か。 ・受益と費用負担は公平か。 ・受益に対する負担は適切か。 ・民間活用の余地があるか。 ・類似業務との統合の可能性はないか。	妥当である。 おおむね妥当である。 妥当でない。(問題がある。) 上記3つのうち、左記の内容から該当するものを1つ選択し、 <input type="checkbox"/> で囲んでください。

評価意見			
その他意見	・事務事業評価シートに記載された文章、内容は分かりやすいか、該当する方を <input type="checkbox"/> で囲んでください。	分かる	難しい

上段の市が実施した内部評価に対し、主に3つの視点から第三者評価を行う。

平成20年度 行政評価第三者評価シート

事務事業番号 370

事務事業名	一般廃棄物収集運搬業務委託事務費	所管部課	2市民生活部	環境課		
事業概要	一般廃棄物のステーション回収の効率化と衛生的な収集運搬を目指し民間業者に委託する					
事業内容	事業詳細・手段	一般廃棄物のステーション収集運搬を民間業者に委託する 競争見積もりによる随意契約 契約額を毎月分割して支払う 市内地区別にそれぞれの中間処理施設に搬入する				
	意 図	市内ごみステーションに排出されたごみを公衆衛生・環境衛生上好ましくない状態から、排出される家庭系一般廃棄物を生活環境の保全上支障が生じないうちに収集運搬する				
	市の関与のあり方	市が事業主体となる				
	事業費 (単位:千円)	H18決算 146,627	H19決算 162,246	H20予算 164,662	H21見込 164,662	H22見込 164,662
内部評価	2-A					

行政評価第三者評価

市の内部評価、2-A に対して評価する。

評価の視点	評 価
必要性 ・市民ニーズは大きいか。 ・行政で実施するのが妥当か。 緊急性 ・新たに事業を実施する必要があるか。 ・事業を現在のレベルで引き続き実施する必要があるか。 効率性 ・事業執行に際して、ムダが生じていないか。 ・経費に見合った効果が期待できるか。 ・適切な事業規模か。 ・受益と費用負担は公平か。 ・受益に対する負担は適切か。 ・民間活用の余地があるか。 ・類似業務との統合の可能性はないか。	妥当である。 おおむね妥当である。 妥当でない。(問題がある。) 上記3つのうち、左記の内容から該当するものを1つ選択し、 <input type="checkbox"/> で囲んでください。

評価意見			
その他意見	・事務事業評価シートに記載された文章、内容は分かりやすいか、該当する方を <input type="checkbox"/> で囲んでください。	分かる	難しい

上段の市が実施した内部評価に対し、主に3つの視点から第三者評価を行う。

平成20年度 行政評価第三者評価シート

事務事業番号 377

事務事業名	環境衛生事業		所管部課	2市民生活部	環境課		
事業概要	住み良い生活環境を目指し、不法投棄の削減や公共の場所における動物死体の撤去、犬の飼い主のマナー向上、空き地の雑草除去指導を進める						
事業内容	事業詳細・手段	環境美化推進委員会の開催 廃棄物監視員の配置による不法投棄未然防止 環境衛生・美化を図るための啓発事業の展開 犬猫等死体回収、雑草等除去受託事業の実施					
	意 図	市内の環境衛生の保持向上が図れない状態から、環境美化・環境衛生を保持し、住みよい生活環境の向上を図る					
	市の関与のあり方	市が事業主体となる					
	事業費 (単位:千円)	H18決算 10,469	H19決算 10,388	H20予算 11,196	H21見込 10,881	H22見込 10,881	H23見込 10,881
内部評価	2-B						

行政評価第三者評価

市の内部評価、2-B に対して評価する。

評価の視点	評 価
必要性 ・市民ニーズは大きいか。 ・行政で実施するのが妥当か。 緊急性 ・新たに事業を実施する必要があるか。 ・事業を現在のレベルで引き続き実施する必要があるか。 効率性 ・事業執行に際して、ムダが生じていないか。 ・経費に見合った効果が期待できるか。 ・適切な事業規模か。 ・受益と費用負担は公平か。 ・受益に対する負担は適切か。 ・民間活用の余地があるか。 ・類似業務との統合の可能性はないか。	妥当である。 おおむね妥当である。 妥当でない。(問題がある。) 上記3つのうち、左記の内容から該当するものを1つ選択し、 で囲んでください。

評価意見			
その他意見	・事務事業評価シートに記載された文章、内容は分かりやすいか、該当する方を で囲んでください。	分かる	難しい

上段の市が実施した内部評価に対し、主に3つの視点から第三者評価を行う。

平成20年度 行政評価第三者評価シート

事務事業番号 384

事務事業名	防犯灯推進管理事業		所管部課	2市民生活部	生活課	
事業概要	防犯灯の設置及び維持管理					
事業内容	事業詳細 ・手段	防犯灯設置工事及び修繕費 防犯灯電気料				
	意 図	防犯灯の設置及び維持管理				
	市の関与の あり方	市が事業主体となる				
	事業費 (単位:千円)	H18決算 16,814	H19決算 17,018	H20予算 16,780	H21見込 17,547	H22見込 18,314
内部評価	1-A					

行政評価第三者評価

市の内部評価、1-A に対して評価する。

評価の視点	評 価
必要性 ・市民ニーズは大きいか。 ・行政で実施するのが妥当か。 緊急性 ・新たに事業を実施する必要があるか。 ・事業を現在のレベルで引き続き実施する必要があるか。 効率性 ・事業執行に際して、ムダが生じていないか。 ・経費に見合った効果が期待できるか。 ・適切な事業規模か。 ・受益と費用負担は公平か。 ・受益に対する負担は適切か。 ・民間活用の余地があるか。 ・類似業務との統合の可能性はないか。	妥当である。 おおむね妥当である。 妥当でない。(問題がある。) 上記3つのうち、左記の内容から該当するものを1つ選択し、 で囲んでください。

評価意見		
その他意見	・事務事業評価シートに記載された文章、内容は分かりやすいか、該当する方を で囲んでください。	分かる 難しい

上段の市が実施した内部評価に対し、主に3つの視点から第三者評価を行う。

平成20年度 行政評価第三者評価シート

事務事業番号 393

事務事業名	消防器具置場建設事業		所管部課	2市民生活部	生活課	
事業概要	老朽化した消防器具置場を整備するための経費					
事業内容	事業詳細 ・手段	市町村合併特例債				
	意 図	更新計画に基づき、ポンプ自動車等を更新するにあたり、老朽化した消防器具置場を計画的に整備して消防力の強化を図る。				
	市の関与の あり方	市が事業主体となる。				
	事業費 (単位:千円)	H18決算 0	H19決算 0	H20予算 0	H21見込 30,140	H22見込 16,331
内部評価	1-B					

行政評価第三者評価

市の内部評価、1-B に対して評価する。

評価の視点	評 価
必要性 ・市民ニーズは大きいか。 ・行政で実施するのが妥当か。 緊急性 ・新たに事業を実施する必要があるか。 ・事業を現在のレベルで引き続き実施する必要があるか。 効率性 ・事業執行に際して、ムダが生じていないか。 ・経費に見合った効果が期待できるか。 ・適切な事業規模か。 ・受益と費用負担は公平か。 ・受益に対する負担は適切か。 ・民間活用の余地があるか。 ・類似業務との統合の可能性はないか。	妥当である。 おおむね妥当である。 妥当でない。(問題がある。) 上記3つのうち、左記の内容から該当するものを1つ選択し、 で囲んでください。

評価意見			
その他意見	・事務事業評価シートに記載された文章、内容は分かりやすいか、該当する方を で囲んでください。	分かる	難しい

上段の市が実施した内部評価に対し、主に3つの視点から第三者評価を行う。

平成20年度 行政評価第三者評価シート

事務事業番号 411

事務事業名	コミュニティセンター指定管理者施設管理運営事業		所管部課	2市民生活部	生活課	
事業概要	コミュニティ推進協議会によるコミュニティセンターの管理運営					
事業内容	事業詳細・手段	市内9コミュニティセンター施設の管理運営を各コミュニティ推進協議会に指定管理者として委託				
	意 図	コミュニティ推進協議会の活動の活性化と推進を図る。				
	市の関与のあり方	各コミュニティ推進協議会が主体となって施設の管理運営を実施。市は各コミュニティ推進協議会へ管理委託料を支払う。				
	事業費 (単位:千円)	H18決算 2,738	H19決算 11,322	H20予算 12,948	H21見込 11,500	H22見込 11,500
内部評価	5-B					

行政評価第三者評価

市の内部評価、5-B に対して評価する。

評価の視点	評 価
必要性 ・市民ニーズは大きいか。 ・行政で実施するのが妥当か。 緊急性 ・新たに事業を実施する必要があるか。 ・事業を現在のレベルで引き続き実施する必要があるか。 効率性 ・事業執行に際して、ムダが生じていないか。 ・経費に見合った効果が期待できるか。 ・適切な事業規模か。 ・受益と費用負担は公平か。 ・受益に対する負担は適切か。 ・民間活用の余地があるか。 ・類似業務との統合の可能性はないか。	妥当である。 おおむね妥当である。 妥当でない。(問題がある。) 上記3つのうち、左記の内容から該当するものを1つ選択し、 で囲んでください。

評価意見			
その他意見	・事務事業評価シートに記載された文章、内容は分かりやすいか、該当する方を で囲んでください。	分かる	難しい

上段の市が実施した内部評価に対し、主に3つの視点から第三者評価を行う。

平成20年度 行政評価第三者評価シート

事務事業番号 230

事務事業名	母子保健事業	所管部課	3健康福祉部	健康増進課		
事業概要	母子手帳の交付、妊婦一般健康診査、乳児先天性股関節脱臼検診、特定不妊治療助成事業					
事業内容	事業詳細 ・手段	<ul style="list-style-type: none"> ・妊婦一般健康診査は、妊娠届出時に5回の受診券を発行。 ・乳児先天性股関節脱臼検診は、医師会委託により3～4月時に受診を勧奨 ・特定不妊治療は、顕微、体外受精について、栃木県の助成を受けた夫婦に、1回10万円、年2回を5年間助成とする。 				
	意 図	<p>妊娠届出の受理と母子手帳交付を保健師の面接の上に行い出産後の支援体制を図る。</p> <p>不妊治療を受けている夫婦の経済的な負担軽減と少子化対策の推進を図る。</p>				
	市の関与のあり方	事業主体				
	事業費 (単位:千円)	H18決算 11,171	H19決算 19,592	H20予算 23,331	H21見込 38,331	H22見込 38,331
内部評価	2-C					

行政評価第三者評価

市の内部評価、2-C に対して評価する。

評価の視点	評 価
必要性 ・市民ニーズは大きいか。 ・行政で実施するのが妥当か。 緊急性 ・新たに事業を実施する必要があるか。 ・事業を現在のレベルで引き続き実施する必要があるか。 効率性 ・事業執行に際して、ムダが生じていないか。 ・経費に見合った効果が期待できるか。 ・適切な事業規模か。 ・受益と費用負担は公平か。 ・受益に対する負担は適切か。 ・民間活用の余地があるか。 ・類似業務との統合の可能性はないか。	妥当である。 おおむね妥当である。 妥当でない。(問題がある。) 上記3つのうち、左記の内容から該当するものを1つ選択し、 で囲んでください。

評価意見			
その他意見	・事務事業評価シートに記載された文章、内容は分かりやすいか、該当する方を で囲んでください。	分かる	難しい

上段の市が実施した内部評価に対し、主に3つの視点から第三者評価を行う。

平成20年度 行政評価第三者評価シート

事務事業番号 261

事務事業名	こがねい保育園事業		所管部課	3健康福祉部	児童福祉課	
事業概要	乳幼児の保育					
事業内容	事業詳細・手段	保護者が就労等により保育することができない乳幼児を日中預かり、保育を実施する。 (通常保育、乳児保育、延長保育、一時保育、障害児保育)				
	意 図	この事業を行うことにより保護者の多様な保育にニーズに対応し、質の高い保育サービスを提供するとともに、児童の発達段階に則した遊びや体験を通し、基本的な生活習慣の習得や集団生活による社会性を身につけさせ、児童の心身ともに健やかな成長を図れる。				
	市の関与のあり方	市が事業主体となって、下野市保育の実施に関する条例に基づき、乳幼児を保育している。				
	事業費 (単位:千円)	H18決算 13,496	H19決算 13,114	H20予算 15,082	H21見込 15,082	H22見込 15,082
内部評価	3-C					

行政評価第三者評価

市の内部評価、3-C に対して評価する。

評価の視点	評 価
必要性 ・市民ニーズは大きいか。 ・行政で実施するのが妥当か。 緊急性 ・新たに事業を実施する必要があるか。 ・事業を現在のレベルで引き続き実施する必要があるか。 効率性 ・事業執行に際して、ムダが生じていないか。 ・経費に見合った効果が期待できるか。 ・適切な事業規模か。 ・受益と費用負担は公平か。 ・受益に対する負担は適切か。 ・民間活用の余地があるか。 ・類似業務との統合の可能性はないか。	妥当である。 おおむね妥当である。 妥当でない。(問題がある。) 上記3つのうち、左記の内容から該当するものを1つ選択し、 で囲んでください。

評価意見		
その他意見	・事務事業評価シートに記載された文章、内容は分かりやすいか、該当する方を で囲んでください。	分かる 難しい

上段の市が実施した内部評価に対し、主に3つの視点から第三者評価を行う。

平成20年度 行政評価第三者評価シート

事務事業番号 266

事務事業名	保育園特別保育補助事業		所管部課	3健康福祉部	児童福祉課	
事業概要	民間の認可保育園が行う特別保育事業に対し、国・県の補助事業に併せて補助事業を実施					
事業内容	事業詳細 ・手段	民間の認可保育施設に対し、国や県の補助要綱により、民間が行う、特別保育事業（1歳児保育土増員・延長保育・一時保育・第3子保育）に対し、市も助成する。				
	意 図	認可保育施設には、国の基準により運営費が支払われているが、特別保育事業の分は、保護者のニーズに対応する子育て支援策として、別の補助事業対応とされている。そこで、この補助事業を実施しない場合は、民間は人件費の確保が難しく事業が行われなくなり、保護者の希望する子育て支援が図れず、少子化につながる。				
	市の関与の あり方	市は事業主体となり、民間の保育施設が実施する特別保育事業に、国や県の補助要綱に基づき補助するものである。				
	事業費 (単位:千円)	H18決算 15,903	H19決算 19,756	H20予算 27,260	H21見込 28,958	H22見込 28,958
内部評価	3-A					

行政評価第三者評価

市の内部評価、3-A に対して評価する。

評価の視点	評 価
必要性 ・市民ニーズは大きいか。 ・行政で実施するのが妥当か。 緊急性 ・新たに事業を実施する必要があるか。 ・事業を現在のレベルで引き続き実施する必要があるか。 効率性 ・事業執行に際して、ムダが生じていないか。 ・経費に見合った効果が期待できるか。 ・適切な事業規模か。 ・受益と費用負担は公平か。 ・受益に対する負担は適切か。 ・民間活用の余地があるか。 ・類似業務との統合の可能性はないか。	妥当である。 おおむね妥当である。 妥当でない。(問題がある。) 上記3つのうち、左記の内容から該当するものを1つ選択し、 で囲んでください。

評価意見		
その他意見	・事務事業評価シートに記載された文章、内容は分かりやすいか、該当する方を で囲んでください。	分かる 難しい

上段の市が実施した内部評価に対し、主に3つの視点から第三者評価を行う。

平成20年度 行政評価第三者評価シート

事務事業番号 294

事務事業名	地域活動支援センター事業		所管部課	3健康福祉部	社会福祉課		
事業概要	地域活動支援センターを設置し、障害者等に対し創作的活動、生産活動の機会を提供し、社会との交流促進を行う。						
事業内容	事業詳細 ・手段	地域活動支援センターを設置し、障害者等に対し創作的活動、生産活動の機会を提供し、社会との交流促進を行う。					
	意 図	この事業を行うことにより、障害者等の自立が促進され、日常生活の向上や社会生活支援が図れる。					
	市の関与の あり方	市が実施主体となって、下野市地域生活支援事業実施要綱に基づき、指定委託事業者が活動支援センター事業を行う。					
	事業費 (単位:千円)	H18決算 1,346	H19決算 2,737	H20予算 2,809	H21見込 30,100	H22見込 30,100	H23見込 30,100
内部評価	3-A						

行政評価第三者評価

市の内部評価、3-A に対して評価する。

評価の視点	評 価
必要性 ・市民ニーズは大きいか。 ・行政で実施するのが妥当か。 緊急性 ・新たに事業を実施する必要があるか。 ・事業を現在のレベルで引き続き実施する必要があるか。 効率性 ・事業執行に際して、ムダが生じていないか。 ・経費に見合った効果が期待できるか。 ・適切な事業規模か。 ・受益と費用負担は公平か。 ・受益に対する負担は適切か。 ・民間活用の余地があるか。 ・類似業務との統合の可能性はないか。	妥当である。 おおむね妥当である。 妥当でない。(問題がある。) 上記3つのうち、左記の内容から該当するものを1つ選択し、 <input type="checkbox"/> で囲んでください。

評価意見			
その他意見	・事務事業評価シートに記載された文章、内容は分かりやすいか、該当する方を <input type="checkbox"/> で囲んでください。	分かる	難しい

上段の市が実施した内部評価に対し、主に3つの視点から第三者評価を行う。

平成20年度 行政評価第三者評価シート

事務事業番号

322

事務事業名	老人保護措置事業	所管部課	3健康福祉部	高齢福祉課		
事業概要	止むを得ない事由等により、居宅での生活が困難な高齢者を、養護老人ホームに入所される。					
事業内容	事業詳細・手段	止むを得ない事由等により、居宅での生活が困難な高齢者について、入所判定のための委員会を開いて、入所の決定を行い養護老人ホームに入所させる。入所の費用については、入所者の経済状況により、負担額を決定し、残りを市が支払う。				
	意 図	身体上、精神上、環境上又は経済的な理由により、居宅での生活が困難な高齢者及び虐待等により生命等への影響が危惧される高齢者を養護老人ホームに入所させ、問題の回避を図る。				
	市の関与のあり方	市が実施主体となり、法令の定めるところにより、市の老人福祉方施行細則、下野市老人ホーム入所判定実施要綱及び下野市やむを得ない事由による措置要綱に基づき、止むを得ない事由等により、居宅での生活が困難な高齢者を、養護老人ホームに入所される。				
	事業費 (単位:千円)	H18決算 15,300	H19決算 13,943	H20予算 17,638	H21見込 17,638	H22見込 17,638
内部評価	2-A					

行政評価第三者評価

市の内部評価、2-A に対して評価する。

評価の視点	評 価
必要性 ・市民ニーズは大きいか。 ・行政で実施するのが妥当か。 緊急性 ・新たに事業を実施する必要があるか。 ・事業を現在のレベルで引き続き実施する必要があるか。 効率性 ・事業執行に際して、ムダが生じていないか。 ・経費に見合った効果が期待できるか。 ・適切な事業規模か。 ・受益と費用負担は公平か。 ・受益に対する負担は適切か。 ・民間活用の余地があるか。 ・類似業務との統合の可能性はないか。	妥当である。 おおむね妥当である。 妥当でない。(問題がある。) 上記3つのうち、左記の内容から該当するものを1つ選択し、 で囲んでください。

評価意見			
その他意見	・事務事業評価シートに記載された文章、内容は分かりやすいか、該当する方を で囲んでください。	分かる	難しい

上段の市が実施した内部評価に対し、主に3つの視点から第三者評価を行う。

平成20年度 行政評価第三者評価シート

事務事業番号 340

事務事業名	社会福祉協議会育成事業		所管部課	3健康福祉部	社会福祉課		
事業概要	広く住民や社会福祉団体関係者に支えられた公共性を持つ社会福祉協議会に、運営費の一部を補助する。						
事業内容	事業詳細・手段	社会福祉協議会は、地域住民、ボランティア、福祉・保健等の関係者、行政機関などの参加・協力を得て、「誰もが住み慣れた地域で安心して暮せるまちづくり」を推進するために各種事業を行っている。					
	意 図	地域福祉の推進の中核的な役割を果たす社会福祉協議会の経営基盤の安定、強化を図ることで、社会福祉事業の能率的運営と、地域社会福祉の増進を図ることができる。					
	市の関与のあり方	社会福祉協議会が事業主体となり、市が運営に要する人件費補助等を行っている。					
	事業費 (単位:千円)	H18決算	H19決算	H20予算	H21見込	H22見込	H23見込
	76,880	56,999	60,554	60,554	60,554	60,554	
内部評価	3-C						

行政評価第三者評価

市の内部評価、3-C に対して評価する。

評価の視点	評 価
必要性 ・市民ニーズは大きいか。 ・行政で実施するのが妥当か。 緊急性 ・新たに事業を実施する必要があるか。 ・事業を現在のレベルで引き続き実施する必要があるか。 効率性 ・事業執行に際して、ムダが生じていないか。 ・経費に見合った効果が期待できるか。 ・適切な事業規模か。 ・受益と費用負担は公平か。 ・受益に対する負担は適切か。 ・民間活用の余地があるか。 ・類似業務との統合の可能性はないか。	妥当である。 おおむね妥当である。 妥当でない。(問題がある。) 上記3つのうち、左記の内容から該当するものを1つ選択し、 で囲んでください。

評価意見			
その他意見	・事務事業評価シートに記載された文章、内容は分かりやすいか、該当する方を で囲んでください。	分かる	難しい

上段の市が実施した内部評価に対し、主に3つの視点から第三者評価を行う。

平成20年度 行政評価第三者評価シート

事務事業番号 120

事務事業名	地籍調査事業		所管部課	4経済建設部	農政課		
事業概要	土地の地籍を明確にする調査で、境界の位置及び面積について正確な測量を行い、地籍図と地籍簿を作成するものである。						
事業内容	事業詳細・手段	一筆ごとの所有者、地番、地目を調査し、境界(筆界)を確認し、測量後登記する。					
	意 図	現在法務局に登録されている公図は、明治初期に作成されたもので必ずしも正確とは言えず、このため土地取引や公共事業などの土地行政を進める上で、多額の経費を投じた上調査にも長期間を要するなど様々な支障がある。これらの支障を早急に解決するには、土地に関する実態を正確に把握し、地籍を明確にする必要がある。また、地籍を明確にすることにより、土地に関するあらゆる行為の基礎資料ができる。					
	市の関与のあり方	市が事業主体となる。					
	事業費 (単位:千円)	H18決算 28,719	H19決算 39,964	H20予算 50,872	H21見込 43,000	H22見込 43,000	H23見込 43,000
内部評価	3-C'						

行政評価第三者評価

市の内部評価、3-C' に対して評価する。

評価の視点	評 価
必要性 ・市民ニーズは大きいか。 ・行政で実施するのが妥当か。 緊急性 ・新たに事業を実施する必要があるか。 ・事業を現在のレベルで引き続き実施する必要があるか。 効率性 ・事業執行に際して、ムダが生じていないか。 ・経費に見合った効果が期待できるか。 ・適切な事業規模か。 ・受益と費用負担は公平か。 ・受益に対する負担は適切か。 ・民間活用の余地があるか。 ・類似業務との統合の可能性はないか。	妥当である。 おおむね妥当である。 妥当でない。(問題がある。) 上記3つのうち、左記の内容から該当するものを1つ選択し、 で囲んでください。

評価意見			
その他意見	・事務事業評価シートに記載された文章、内容は分かりやすいか、該当する方を で囲んでください。	分かる	難しい

上段の市が実施した内部評価に対し、主に3つの視点から第三者評価を行う。

平成20年度 行政評価第三者評価シート

事務事業番号 121

事務事業名	県営ほ場整備事業(江川・五千石地区)		所管部課	4経済建設部	農政課		
事業概要	将来の農業生産を担う経営体(担い手)を育成し、地域農業の中心的な役割を担えるよう、区画整理や水路、農道等の生産基盤の整備を行う。						
事業内容	事業詳細・手段	県営ほ場整備事業の負担金として。					
	意 図	育成した経営体が整備された生産基盤により、集約的な農業を展開しつつ、優良農地を将来にわたり適切に維持・保全することで、食料自給率の向上、農業の多面的機能の発揮に資することを目的とする。					
	市の関与のあり方	事業主体は、県である。					
	事業費 (単位:千円)	H18決算 55,000	H19決算 94,300	H20予算 71,000	H21見込 63,000	H22見込 17,900	H23見込 0
内部評価	4-B						

行政評価第三者評価

市の内部評価、4-B に対して評価する。

評価の視点	評 価
必要性 ・市民ニーズは大きいか。 ・行政で実施するのが妥当か。 緊急性 ・新たに事業を実施する必要があるか。 ・事業を現在のレベルで引き続き実施する必要があるか。 効率性 ・事業執行に際して、ムダが生じていないか。 ・経費に見合った効果が期待できるか。 ・適切な事業規模か。 ・受益と費用負担は公平か。 ・受益に対する負担は適切か。 ・民間活用の余地があるか。 ・類似業務との統合の可能性はないか。	妥当である。 おおむね妥当である。 妥当でない。(問題がある。) 上記3つのうち、左記の内容から該当するものを1つ選択し、 で囲んでください。

評価意見			
その他意見	・事務事業評価シートに記載された文章、内容は分かりやすいか、該当する方を で囲んでください。	分かる	難しい

上段の市が実施した内部評価に対し、主に3つの視点から第三者評価を行う。

平成20年度 行政評価第三者評価シート

事務事業番号

144

事務事業名	中小企業制度融資事業	所管部課	4経済建設部	商工観光課		
事業概要	中小企業の資金調達を容易にするため、市内金融機関の融資額の1/3の額を預託する。					
事業内容	事業詳細 ・手段	栃木県信用保証協会を經由して、市内金融機関に預託を行う。				
	意 図	中小企業の資金調達を容易にし、健全な営業を図るため、融資額の1/3を県保証協会に預託する。				
	市の関与の あり方	市が事業主体 ・市の制度融資を利用する中小企業が、金融機関から資金の調達を行いやすいように、その融資額の1/3を預託する。				
	事業費 (単位:千円)	H18決算 131,604	H19決算 161,851	H20予算 205,200	H21見込 219,320	H22見込 219,320
内部評価	5-A					

行政評価第三者評価

市の内部評価、5-A に対して評価する。

評価の視点	評 価
必要性 ・市民ニーズは大きいか。 ・行政で実施するのが妥当か。 緊急性 ・新たに事業を実施する必要があるか。 ・事業を現在のレベルで引き続き実施する必要があるか。 効率性 ・事業執行に際して、ムダが生じていないか。 ・経費に見合った効果が期待できるか。 ・適切な事業規模か。 ・受益と費用負担は公平か。 ・受益に対する負担は適切か。 ・民間活用の余地があるか。 ・類似業務との統合の可能性はないか。	妥当である。 おおむね妥当である。 妥当でない。(問題がある。) 上記3つのうち、左記の内容から該当するものを1つ選択し、 で囲んでください。

評価意見			
その他意見	・事務事業評価シートに記載された文章、内容は分かりやすいか、該当する方を で囲んでください。	分かる	難しい

上段の市が実施した内部評価に対し、主に3つの視点から第三者評価を行う。

平成20年度 行政評価第三者評価シート

事務事業番号 159

事務事業名	地域振興交流施設整備事業		所管部課	4経済建設部	道の駅準備室		
事業概要	建築実施設計と基盤整備工事・建築工事						
事業内容	事業詳細・手段	農水省の補助事業や合併特例債の採択に向けて取り組む。 また、農振除外等の法手続きが済みしだい、造成工事・建築工事に着手する。					
	意 図	国土交通省がH21・22年度で整備する「休憩機能施設」「情報発信施設」と併せて地域連携施設(直売・物産・加工施設等)を市が整備して、「地域間交流」や「シティセールス」等を推進していく。					
	市の関与のあり方	市が事業主体で実施していく。 管理運営に関しては、今後第3セクター設立準備検討会等の中で具体化していく。					
	事業費 (単位:千円)	H18決算 467	H19決算 10,901	H20予算 92,760	H21見込 445,330	H22見込 548,005	H23見込 0
内部評価	4-C						

行政評価第三者評価

市の内部評価、4-C に対して評価する。

評価の視点	評 価
必要性 ・市民ニーズは大きいか。 ・行政で実施するのが妥当か。 緊急性 ・新たに事業を実施する必要があるか。 ・事業を現在のレベルで引き続き実施する必要があるか。 効率性 ・事業執行に際して、ムダが生じていないか。 ・経費に見合った効果が期待できるか。 ・適切な事業規模か。 ・受益と費用負担は公平か。 ・受益に対する負担は適切か。 ・民間活用の余地があるか。 ・類似業務との統合の可能性はないか。	妥当である。 おおむね妥当である。 妥当でない。(問題がある。) 上記3つのうち、左記の内容から該当するものを1つ選択し、 <input type="checkbox"/> で囲んでください。

評価意見			
その他意見	・事務事業評価シートに記載された文章、内容は分かりやすいか、該当する方を <input type="checkbox"/> で囲んでください。	分かる	難しい

上段の市が実施した内部評価に対し、主に3つの視点から第三者評価を行う。

平成20年度 行政評価第三者評価シート

事務事業番号 167

事務事業名	仁良川地区土地区画整理事業			所管部課	4経済建設部	区画整理課
事業概要	土地区画整理事業					
事業内容	事業詳細・手段	道路・公園を整備する。 移転の必要な家屋や工作物の移転補償を行う。				
	意 図	仁良川地区は、下野市東部の行政・文化の拠点であるが住宅地としての好条件を有しているが、道路等の公共施設が不十分であり、ミニ開発の増加により良好な住環境の維持が困難な状況にある。 区画整理事業を行うことにより、公共施設が整備され、住環境の向上と良好な住宅地の供給が図れる。				
	市の関与のあり方	事業主体は市である。				
	事業費 (単位:千円)	H18決算 564,396	H19決算 605,078	H20予算 614,461	H21見込 530,000	H22見込 530,000
内部評価	4-C'					

行政評価第三者評価

市の内部評価、4-C' に対して評価する。

評価の視点	評 価
必要性 ・市民ニーズは大きいか。 ・行政で実施するのが妥当か。 緊急性 ・新たに事業を実施する必要があるか。 ・事業を現在のレベルで引き続き実施する必要があるか。 効率性 ・事業執行に際して、ムダが生じていないか。 ・経費に見合った効果が期待できるか。 ・適切な事業規模か。 ・受益と費用負担は公平か。 ・受益に対する負担は適切か。 ・民間活用の余地があるか。 ・類似業務との統合の可能性はないか。	妥当である。 おおむね妥当である。 妥当でない。(問題がある。) 上記3つのうち、左記の内容から該当するものを1つ選択し、 で囲んでください。

評価意見		
その他意見	・事務事業評価シートに記載された文章、内容は分かりやすいか、該当する方を で囲んでください。	分かる 難しい

上段の市が実施した内部評価に対し、主に3つの視点から第三者評価を行う。

平成20年度 行政評価第三者評価シート

事務事業番号 182

事務事業名	市道南1-2号線整備事業		所管部課	4経済建設部	建設課	
事業概要	(国庫)道路改良事業					
事業内容	事業詳細 ・手段	工事実施に向け調査測量・設計を実施 関係地権者への説明会等を実施 用地買収・物件移転の補償 工事費積算後、工事発注				
	意 図	現在、市街地から国道4号線に接続されている本線を都市計画道路3・4・801号線まで延長(新設)し、旧3町の基幹的道路網を構築して新市の一体性の確立を図る。				
	市の関与の あり方	市が事業主体となる。				
	事業費 (単位:千円)	H18決算 3,234	H19決算 5,670	H20予算 7,000	H21見込 100,000	H22見込 100,000
内部評価	4-A					

行政評価第三者評価

市の内部評価、4-A に対して評価する。

評価の視点	評 価
必要性 ・市民ニーズは大きいか。 ・行政で実施するのが妥当か。 緊急性 ・新たに事業を実施する必要があるか。 ・事業を現在のレベルで引き続き実施する必要があるか。 効率性 ・事業執行に際して、ムダが生じていないか。 ・経費に見合った効果が期待できるか。 ・適切な事業規模か。 ・受益と費用負担は公平か。 ・受益に対する負担は適切か。 ・民間活用の余地があるか。 ・類似業務との統合の可能性はないか。	妥当である。 おおむね妥当である。 妥当でない。(問題がある。) 上記3つのうち、左記の内容から該当するものを1つ選択し、 <input type="checkbox"/> で囲んでください。

評価意見		
その他意見	・事務事業評価シートに記載された文章、内容は分かりやすいか、該当する方を <input type="checkbox"/> で囲んでください。	分かる <input type="checkbox"/> 難しい <input type="checkbox"/>

上段の市が実施した内部評価に対し、主に3つの視点から第三者評価を行う。

平成20年度 行政評価第三者評価シート

事務事業番号 188

事務事業名	市道石1-5号線道路改良		所管部課	4経済建設部	建設課	
事業概要	(国庫)道路改良事業					
事業内容	事業詳細 ・手段	路線測量・調査・実施設計・交差点設計等一式を実施する。 用地買収・物件移転の補償 道路拡幅工事 車溜まり用地の借り上げ(面積88.54㎡)				
	意 図	老朽化の著しい橋梁の架け替え、また、通学路であり、道路拡幅し安全確保と利便性の向上を図る 地域住民より陳情・請願の提出あり				
	市の関与の あり方	市が事業主体となる。				
	事業費 (単位:千円)	H18決算	H19決算	H20予算	H21見込	H22見込
	0	15,992	158,200	200,000	200,000	0
内部評価	4-A					

行政評価第三者評価

市の内部評価、4-A に対して評価する。

評価の視点	評 価
必要性 ・市民ニーズは大きいか。 ・行政で実施するのが妥当か。 緊急性 ・新たに事業を実施する必要があるか。 ・事業を現在のレベルで引き続き実施する必要があるか。 効率性 ・事業執行に際して、ムダが生じていないか。 ・経費に見合った効果が期待できるか。 ・適切な事業規模か。 ・受益と費用負担は公平か。 ・受益に対する負担は適切か。 ・民間活用の余地があるか。 ・類似業務との統合の可能性はないか。	妥当である。 おおむね妥当である。 妥当でない。(問題がある。) 上記3つのうち、左記の内容から該当するものを1つ選択し、 で囲んでください。

評価意見		
その他意見	・事務事業評価シートに記載された文章、内容は分かりやすいか、該当する方を で囲んでください。	分かる 難しい

上段の市が実施した内部評価に対し、主に3つの視点から第三者評価を行う。

平成20年度 行政評価第三者評価シート

事務事業番号 210

事務事業名	石橋駅バリアフリー整備事業		所管部課	4経済建設部	都市計画課		
事業概要	西口EV 1基、東口EV 1基、連絡通路 1式、西口トイレ 1箇所、西口東口段差解消、東口街路照明						
事業内容	事業詳細・手段	バリアフリー環境整備事業や人にやさしいまちづくり事業を活用し、国庫補助金と県補助金を財源として、整備を進める。					
	意 図	高齢者や身体障害者が公共交通機関を利用し、移動するときの利便性と安全性を向上させる。					
	市の関与のあり方	市が事業主体、JRを支援					
	事業費 (単位:千円)	H18決算 4,893	H19決算 89,070	H20予算 65,000	H21見込 225,000	H22見込 0	H23見込 0
内部評価	4-A						

行政評価第三者評価

市の内部評価、4-A に対して評価する。

評価の視点	評 価
必要性 ・市民ニーズは大きいか。 ・行政で実施するのが妥当か。 緊急性 ・新たに事業を実施する必要があるか。 ・事業を現在のレベルで引き続き実施する必要があるか。 効率性 ・事業執行に際して、ムダが生じていないか。 ・経費に見合った効果が期待できるか。 ・適切な事業規模か。 ・受益と費用負担は公平か。 ・受益に対する負担は適切か。 ・民間活用の余地があるか。 ・類似業務との統合の可能性はないか。	妥当である。 おおむね妥当である。 妥当でない。(問題がある。) 上記3つのうち、左記の内容から該当するものを1つ選択し、 で囲んでください。

評価意見			
その他意見	・事務事業評価シートに記載された文章、内容は分かりやすいか、該当する方を で囲んでください。	分かる	難しい

上段の市が実施した内部評価に対し、主に3つの視点から第三者評価を行う。

平成20年度 行政評価第三者評価シート

事務事業番号 397

事務事業名	石綿セメント管更新事業	所管部課	5上下水道部	水道課		
事業概要	石綿セメント管(配水管L=35,595m)、導水管L=2,400m)をDCIP管等に布設替する。					
事業内容	事業詳細・手段	給水区域内の配水管・導水管を対象に、石綿セメント管の更新を行う。				
	意 図	本管漏水による一部断水及び地震等による管路破損事故による長期断水等から、耐震性に優れた強度の高い管に更新することにより、断水被害や漏水損失が低減して安定した水の供給が図れる。				
	市の関与のあり方	市が事業主体となる。				
	事業費 (単位:千円)	H18決算 151,917	H19決算 184,086	H20予算 125,766	H21見込 275,000	H22見込 275,000
内部評価	3-B					

行政評価第三者評価

市の内部評価、3-B に対して評価する。

評価の視点	評 価
必要性 ・市民ニーズは大きいか。 ・行政で実施するのが妥当か。 緊急性 ・新たに事業を実施する必要があるか。 ・事業を現在のレベルで引き続き実施する必要があるか。 効率性 ・事業執行に際して、ムダが生じていないか。 ・経費に見合った効果が期待できるか。 ・適切な事業規模か。 ・受益と費用負担は公平か。 ・受益に対する負担は適切か。 ・民間活用の余地があるか。 ・類似業務との統合の可能性はないか。	妥当である。 おおむね妥当である。 妥当でない。(問題がある。) 上記3つのうち、左記の内容から該当するものを1つ選択し、 で囲んでください。

評価意見			
その他意見	・事務事業評価シートに記載された文章、内容は分かりやすいか、該当する方を で囲んでください。	分かる	難しい

上段の市が実施した内部評価に対し、主に3つの視点から第三者評価を行う。

平成20年度 行政評価第三者評価シート

事務事業番号 401

事務事業名	公共下水道維持管理事業		所管部課	5上下水道部	下水道課	
事業概要	公共下水道維持管理					
事業内容	事業詳細・手段	公共下水道区域を対象に市民のより良い生活環境を確保するため公共下水道施設を良好な状態に維持管理する。				
	意 図	汚水や雨水(東調整池等)処理のために設置された施設の維持管理をとおして、市民の快適な生活環境の改善を図るため、及び市民開放施設(調整池)の快適で安全な利用確保のため。				
	市の関与のあり方	市が事業主体となる。				
	事業費 (単位:千円)	H18決算 121,951	H19決算 110,098	H20予算 113,969	H21見込 116,553	H22見込 116,553
内部評価	3-B					

行政評価第三者評価

市の内部評価、3-B に対して評価する。

評価の視点	評 価
必要性 ・市民ニーズは大きいか。 ・行政で実施するのが妥当か。 緊急性 ・新たに事業を実施する必要があるか。 ・事業を現在のレベルで引き続き実施する必要があるか。 効率性 ・事業執行に際して、ムダが生じていないか。 ・経費に見合った効果が期待できるか。 ・適切な事業規模か。 ・受益と費用負担は公平か。 ・受益に対する負担は適切か。 ・民間活用の余地があるか。 ・類似業務との統合の可能性はないか。	妥当である。 おおむね妥当である。 妥当でない。(問題がある。) 上記3つのうち、左記の内容から該当するものを1つ選択し、 <input type="checkbox"/> で囲んでください。

評価意見		
その他意見	・事務事業評価シートに記載された文章、内容は分かりやすいか、該当する方を <input type="checkbox"/> で囲んでください。	分かる <input type="checkbox"/> 難しい <input type="checkbox"/>

上段の市が実施した内部評価に対し、主に3つの視点から第三者評価を行う。

平成20年度 行政評価第三者評価シート

事務事業番号 403

事務事業名	公共下水道事業(汚水)		所管部課	5上下水道部	下水道課	
事業概要	公共下水道汚水管布設整備事業					
事業内容	事業詳細・手段	公共下水道区域を対象に下水道管渠等を整備し下水道を利用可能にして未供用地区の解消を図る。				
	意 図	計画区域の下水道処理を行い、生活環境の改善及び公共用水域の水質保全を図る。				
	市の関与のあり方	市が事業主体				
	事業費 (単位:千円)	H18決算 460,300	H19決算 420,800	H20予算 504,000	H21見込 420,000	H22見込 290,000
内部評価	3-D					

行政評価第三者評価

市の内部評価、3-D に対して評価する。

評価の視点	評 価
必要性 ・市民ニーズは大きいか。 ・行政で実施するのが妥当か。 緊急性 ・新たに事業を実施する必要があるか。 ・事業を現在のレベルで引き続き実施する必要があるか。 効率性 ・事業執行に際して、ムダが生じていないか。 ・経費に見合った効果が期待できるか。 ・適切な事業規模か。 ・受益と費用負担は公平か。 ・受益に対する負担は適切か。 ・民間活用の余地があるか。 ・類似業務との統合の可能性はないか。	妥当である。 おおむね妥当である。 妥当でない。(問題がある。) 上記3つのうち、左記の内容から該当するものを1つ選択し、 で囲んでください。

評価意見		
その他意見	・事務事業評価シートに記載された文章、内容は分かりやすいか、該当する方を で囲んでください。	分かる 難しい

上段の市が実施した内部評価に対し、主に3つの視点から第三者評価を行う。

平成20年度 行政評価第三者評価シート

事務事業番号

22

事務事業名	スクールアシスタント配置事業	所管部課	6教育委員会	学校教育課		
事業概要	きめ細やかな指導と効果的な授業を推進するために非常勤職員を配置する。					
事業内容	事業詳細・手段	非常勤職員(学校生活支援員・学校図書員・情報アドバイザー-)を学校の実情に応じて配置する				
	意 図	児童生徒一人一人にきめ細やかな指導を推進するために、非常勤職員を配置し対応を図る。 個別支援を要する児童生徒の支援及び多人数学級の授業補助を行うことにより児童生徒の能力を向上を図る。 (身体障害介助、軽度発達障害等の個別指導)				
	市の関与のあり方	市が事業主体				
	事業費 (単位:千円)	H18決算 51,156	H19決算 53,582	H20予算 60,238	H21見込 60,238	H22見込 60,238
内部評価	3-C					

行政評価第三者評価

市の内部評価、3-C に対して評価する。

評価の視点	評 価
必要性 ・市民ニーズは大きいか。 ・行政で実施するのが妥当か。 緊急性 ・新たに事業を実施する必要があるか。 ・事業を現在のレベルで引き続き実施する必要があるか。 効率性 ・事業執行に際して、ムダが生じていないか。 ・経費に見合った効果が期待できるか。 ・適切な事業規模か。 ・受益と費用負担は公平か。 ・受益に対する負担は適切か。 ・民間活用の余地があるか。 ・類似業務との統合の可能性はないか。	妥当である。 おおむね妥当である。 妥当でない。(問題がある。) 上記3つのうち、左記の内容から該当するものを1つ選択し、 <input type="checkbox"/> で囲んでください。

評価意見			
その他意見	・事務事業評価シートに記載された文章、内容は分かりやすいか、該当する方を <input type="checkbox"/> で囲んでください。	分かる	難しい

上段の市が実施した内部評価に対し、主に3つの視点から第三者評価を行う。

平成20年度 行政評価第三者評価シート

事務事業番号

26

事務事業名	学校給食センター管理事業		所管部課	6教育委員会	学校教育課		
事業概要	給食施設の維持管理 調理・配送業務の委託						
事業内容	事業詳細 ・手段	給食施設の維持管理 調理・配送業務の委託 調理員、学校配膳員等16名 搬送車両(3トラック、4トラック、軽トラック)					
	意 図	各学校ごとに調理していた給食を、給食センターで共同調理し学校に配送する 配送校 小学校4校・中学校1校(給食数 1,751食)					
	市の関与の あり方	市が事業主体					
	事業費 (単位:千円)	H18決算 146,339	H19決算 99,823	H20予算 102,122	H21見込 101,684	H22見込 101,714	H23見込 69,796
内部評価	3-C						

行政評価第三者評価

市の内部評価、3-C に対して評価する。

評価の視点	評 価
必要性 ・市民ニーズは大きいか。 ・行政で実施するのが妥当か。 緊急性 ・新たに事業を実施する必要があるか。 ・事業を現在のレベルで引き続き実施する必要があるか。 効率性 ・事業執行に際して、ムダが生じていないか。 ・経費に見合った効果が期待できるか。 ・適切な事業規模か。 ・受益と費用負担は公平か。 ・受益に対する負担は適切か。 ・民間活用の余地があるか。 ・類似業務との統合の可能性はないか。	妥当である。 おおむね妥当である。 妥当でない。(問題がある。) 上記3つのうち、左記の内容から該当するものを1つ選択し、 <input type="checkbox"/> で囲んでください。

評価意見			
その他意見	・事務事業評価シートに記載された文章、内容は分かりやすいか、該当する方を <input type="checkbox"/> で囲んでください。	分かる	難しい

上段の市が実施した内部評価に対し、主に3つの視点から第三者評価を行う。

平成20年度 行政評価第三者評価シート

事務事業番号

28

事務事業名	国分寺小学校校舎改修事業			所管部課	6教育委員会	教育総務課
事業概要	校舎耐震補強及び大規模改修工事					
事業内容	事業詳細 ・手段	耐震補強工事の実施 大規模改修工事の実施				
	意 図	耐震診断の結果、耐震補強が必要。また、築40年以上が経過し施設の老朽化が著しいため、大規模な改修を行い教育環境を整備する。				
	市の関与の あり方	市が実施				
	事業費 (単位:千円)	H18決算 5,219	H19決算 4,830	H20予算 60,737	H21見込 253,692	H22見込 0
内部評価	4-A					

行政評価第三者評価

市の内部評価、4-A に対して評価する。

評価の視点	評 価
必要性 ・市民ニーズは大きいか。 ・行政で実施するのが妥当か。 緊急性 ・新たに事業を実施する必要があるか。 ・事業を現在のレベルで引き続き実施する必要があるか。 効率性 ・事業執行に際して、ムダが生じていないか。 ・経費に見合った効果が期待できるか。 ・適切な事業規模か。 ・受益と費用負担は公平か。 ・受益に対する負担は適切か。 ・民間活用の余地があるか。 ・類似業務との統合の可能性はないか。	妥当である。 おおむね妥当である。 妥当でない。(問題がある。) 上記3つのうち、左記の内容から該当するものを1つ選択し、 で囲んでください。

評価意見			
その他意見	・事務事業評価シートに記載された文章、内容は分かりやすいか、該当する方を で囲んでください。	分かる	難しい

上段の市が実施した内部評価に対し、主に3つの視点から第三者評価を行う。

平成20年度 行政評価第三者評価シート

事務事業番号

41

事務事業名	生涯学習情報センター管理運営事業			所管部課	6教育委員会	生涯学習課
事業概要	生涯学習情報センターの管理運営					
事業内容	事業詳細・手段	センターに配属された県内初の有償ボランティアコーディネーターによって地域支援のための、ボランティア団体・育成会への助言や活動場所の提供する。それと平行して各種ボランティアの育成講座を開催。				
	意 図	各教育施設及び行政機関で持っていた学習情報を一元管理し、効率よく市民に提供することにより、市民の生涯にわたる学習活動を総合的に支援し、生涯学習の振興を図る。 また、市民の自治意識のいっそうの高揚を図るため、地域課題解決のための情報提供や市民の社会貢献活動の支援を行なう。				
	市の関与のあり方	事業費を安価にするために多く市町村では指定管理制度を導入している。しかしながら、長期戦略が必要な社会の道徳的教育を入札によって3年程度で交代してしまう可能性が高い法人に委託することは、事業の性質上望ましくない。市民の心の平穏というライフラインに直結する問題は市が事業主体として行うべきである。また、社会教育としての地域と学校支援の取り組みが可能な市民活動センターが存在するのは県内では唯一下野市だけである。				
	事業費 (単位:千円)	H18決算	H19決算	H20予算	H21見込	H22見込
	0	8,965	11,215	11,308	11,258	11,258
内部評価	5-C'					

行政評価第三者評価

市の内部評価、5-C' に対して評価する。

評価の視点	評 価
必要性 ・市民ニーズは大きいか。 ・行政で実施するのが妥当か。 緊急性 ・新たに事業を実施する必要があるか。 ・事業を現在のレベルで引き続き実施する必要があるか。 効率性 ・事業執行に際して、ムダが生じていないか。 ・経費に見合った効果が期待できるか。 ・適切な事業規模か。 ・受益と費用負担は公平か。 ・受益に対する負担は適切か。 ・民間活用の余地があるか。 ・類似業務との統合の可能性はないか。	妥当である。 おおむね妥当である。 妥当でない。(問題がある。) 上記3つのうち、左記の内容から該当するものを1つ選択し、 で囲んでください。

評価意見			
その他意見	・事務事業評価シートに記載された文章、内容は分かりやすいか、該当する方を で囲んでください。	分かる	難しい

上段の市が実施した内部評価に対し、主に3つの視点から第三者評価を行う。

平成20年度 行政評価第三者評価シート

事務事業番号

62

事務事業名	体育館管理事業	所管部課	6教育委員会	スポーツ振興課		
事業概要	体育館管理					
事業内容	事業詳細・手段	地区体育センター等の窓口をシルバー人材センターへ委託 建物の清掃作業や保守点検・修繕等の維持管理				
	意 図	各地区体育センター等の良好な維持管理を行い、スポーツの振興を図る。 石橋体育センター、南河内体育センター、南河内東体育館、国分寺海洋センター、旧石橋中学校体育館				
	市の関与のあり方	市が事業主体となる。				
	事業費 (単位:千円)	H18決算 23,345	H19決算 25,262	H20予算 24,942	H21見込 29,000	H22見込 46,000
内部評価	5-C'					

行政評価第三者評価

市の内部評価、5-C' に対して評価する。

評価の視点	評 価
必要性 ・市民ニーズは大きいか。 ・行政で実施するのが妥当か。 緊急性 ・新たに事業を実施する必要があるか。 ・事業を現在のレベルで引き続き実施する必要があるか。 効率性 ・事業執行に際して、ムダが生じていないか。 ・経費に見合った効果が期待できるか。 ・適切な事業規模か。 ・受益と費用負担は公平か。 ・受益に対する負担は適切か。 ・民間活用の余地があるか。 ・類似業務との統合の可能性はないか。	妥当である。 おおむね妥当である。 妥当でない。(問題がある。) 上記3つのうち、左記の内容から該当するものを1つ選択し、 <input type="checkbox"/> で囲んでください。

評価意見			
その他意見	・事務事業評価シートに記載された文章、内容は分かりやすいか、該当する方を <input type="checkbox"/> で囲んでください。	分かる	難しい

上段の市が実施した内部評価に対し、主に3つの視点から第三者評価を行う。

平成20年度 行政評価第三者評価シート

事務事業番号

74

事務事業名	グリムの森等管理委託事業		所管部課	6教育委員会	文化課	
事業概要	グリムの森等の管理、運営					
事業内容	事業詳細 ・手段	指定管理者である財団法人グリムの里いしばしによる運営管理を行なう。				
	意 図	指定管理者の能力を活用しつつ、住民の本施設に対する効果・効率を更に向上させ、文化芸術の創造、交流、発信の拠点とし活用を図る。				
	市の関与の あり方	事業主体は市であるが、文化活動等を幅広く振興を図る施設として、民間においての運営が難しい状況から、財団法人グリムの里いしばしが管理運営していたが、平成18年9月1日から財団法人グリムの里いしばしが引き続き指定管理者として運営している。				
	事業費 (単位:千円)	H18決算 24,996	H19決算 25,399	H20予算 24,847	H21見込 26,000	H22見込 26,000
内部評価	5-C					

行政評価第三者評価

市の内部評価、5-C に対して評価する。

評価の視点	評 価
必要性 ・市民ニーズは大きいか。 ・行政で実施するのが妥当か。 緊急性 ・新たに事業を実施する必要があるか。 ・事業を現在のレベルで引き続き実施する必要があるか。 効率性 ・事業執行に際して、ムダが生じていないか。 ・経費に見合った効果が期待できるか。 ・適切な事業規模か。 ・受益と費用負担は公平か。 ・受益に対する負担は適切か。 ・民間活用の余地があるか。 ・類似業務との統合の可能性はないか。	妥当である。 おおむね妥当である。 妥当でない。(問題がある。) 上記3つのうち、左記の内容から該当するものを1つ選択し、 <input type="checkbox"/> で囲んでください。

評価意見			
その他意見	・事務事業評価シートに記載された文章、内容は分かりやすいか、該当する方を <input type="checkbox"/> で囲んでください。	分かる	難しい

上段の市が実施した内部評価に対し、主に3つの視点から第三者評価を行う。